

# 大井第一マイ・タウン21

12月号 No. 99

発行：編集委員会

住所：南大井1-12-6

大井第一地域センター内

電話：3761-2000

Fax：5493-7286

平成23年11月22日

## 『第43回 連合大運動会』開催！

よーい、ドン！

10月2日(日)、大井競馬場内グラウンドで21町会・自治会による大井第一地区の連合大運動会が開催されました。参加者は、1866人(うちスタッフ200人)。各町会のテントがずらりと並び、いよいよ開会式。準備体操を経て、競技がスタート。幼児から高齢の方まで各競技で笑顔、笑顔。



負けないぞー

毎年、盛り上がるのが、「つな引き・町会対抗」。予選を実施し、4町会で決勝。メンバーは、6人一組です。テントからも大声援が飛び交います。強豪同士が激戦を繰り広げ、北浜川東町会が見事に優勝！見ているこちらもしっかり力が入ってしまいました。準優勝は、大井南浜町会、3位は、林町グループでした。



## ダッシュして、野菜を奪取！

「買い物レース」では、パパママが大根、ニンジン、タマネギ…と、野菜を抱えて必死にダッシュしていました。野菜高騰の折、家計の助け?? 1位の賞品は、カレーのルーでした。



## 来年もお会いしましょう

運動会の華は、やはり「町会対抗リレー(小学生)」。毎年白熱します。運動会前から、学校や公園で連日練習する町会もあるそうです。熱戦の末、優勝は、林町グループで2連覇！準優勝が大井元芝町会、3位が北浜川西町会でした。

町会の中には、鍋をふるまっているところも。美味しそうでした♪～ 中止となった区民まつりの分も楽しまれて、大いに盛り上がった秋晴れの日でした。実行委員・役員の皆さん、ボランティアの鈴ヶ森中・浜川中の生徒さん、お疲れ様でした。



※「マイ・タウン21」は、地域の行事や情報を掲載しております。ご投稿いただく記事を募集しております。お気軽に発行連絡先へお問い合わせ下さい。

**美化推進モデル地区として  
大井立会町会より**

本年度、立会町会は大井第一地区の美化推進モデル地区に指定されています。

当町会では従来より、町内清掃を隔月で行ってまいりましたが、これを機に毎月実施とすることにしました。地元老人会である、百寿会のご協力も受けて町内をくまなく掃き清めると、1時間ほどで45ℓの袋2つ分のゴミが集まります。以前に比べるとタバコの吸い殻や空き缶等が少なくなり、ポイ捨てについてのモラル意識の向上を感じる事が出来ます。

しかしながら、商店街などではいまだに心無い方々によるポイ捨てが見られます。

町内では、多くのマンションが建設中で、これから新住民の増加が予想されます。また、大井町駅前の発展に従って、外来者も増えています。

これからも、清掃活動にとどまらず掲示板や声掛けによる啓蒙活動等を通じて、新住民の方々には町内を愛する心が芽生えるように、外来者の方々にはポイ捨てしづらい町として認識していただけるとともに快適なひと時を



共有していただけるように、町内美化活動を続けていきたいと思いを。

←ゲームス坂



**クリーンキャンペーンの日  
南大井第四町会より**

第四町会が毎月第3日曜日にクリーンキャンペーンとして町内清掃を始めてから、今年の10月16日で第163回になります。

最初は有志と町会役員で、浜川公園から鈴ヶ森公園の間を2班に分けて清掃し、リヤカー2台が満杯になる程収集しました。

一番多いのが、タバコのポイ捨て、植え込みに缶やペットボトルの投げ捨て、収集日以外のゴミ捨て（特に管理人さんの居ない集合住宅）が多いです。

長年の活動の結果、賛同して下さる町内の朝日新聞販売所、今年になってから、さわやか信用金庫、城南信用金庫の皆さんとお子さん達が暑い中を参加して下さい、今迄以上にはかどっています。

清掃に携わる全ての方々に感謝いたします。



↑  
浜川公園

**東日本大震災を教訓に！！**

「青少年を明るくする運動推進会議」の講演会が、9月13日(火)南大井文化センターにて開催されました。近隣小中学校保護者、青少年健全育成に関わる方々、138名の参加を頂きました。今年、東日本大震災を教訓に、「いざ、という時、子どもをどう守る?!」「子どもを震災から守るには?!」をテーマに、品川区防災課の方から、地震による津波はどれ位のものなのか?どこへ避難したらよいのか?災害に備えて各自がすべき事等のお話がありました。

そして、学校を代表して、浜川小の矢田校長先生より、学校内における災害時の対応を熱く語って頂きました。子供を安全に

確実に親元へ手渡すまでのご苦勞、先生方は命を張って子供を守って下さっている事がよくわかりました。

いつ起こるかわからない大災害に備えて、私達は、地域で行なわれる防災訓練や避難所訓練に参加し、家族でよく話し合い、被害を最小限にする為に、一人ひとりがいざという時に落ち着いて行動できるように心がけたいと思います。

